

《専門教育科目 専門基礎科目》

| | | | | | |
|---------------------------|--------------|-------|--------|----------|-------|
| 科目名 | 中学教科教育法Ⅳ（英語） | | | | |
| 担当者氏名 | アレックス M. 林 | | | | |
| 授業方法 | 講義 | 単位・必選 | 2・選択必修 | 開講年次・開講期 | 3年・秋期 |
| ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力 | | | | | |

《授業の概要》

本講座では、英語の教員として、中学校・高等学校における教科としての英語の指導上必要と期待される知識と技能を育成するために、講義と演習を行う。学習指導要領、外国語の教授理論、外国語学習に不可欠な異文化理解・コミュニケーションの問題、教育機器活用について、ALTとのTTなどが含まれる。また、受講者に合わせシラバスに若干の変更を加える場合がある。

《テキスト》

実践的英語科教育法（村野井 仁、他）成美堂

《参考図書》

適宜最高資料を配布する。

《授業の到達目標》

- ・中学生の心身の発達と心理（認知）についてわかる。
- ・主だった英語教授法についてわかる。
- ・学習指導案計画が作成できる。
- ・学習指導案が作成できる。
- ・教材研究ができる
- ・（模擬）授業ができる。
- ・評価方法についてわかる。

《授業時間外学習》

学習指導案作成・模擬授業準備にかかる文献検索教材作成等

《成績評価の方法》

毎授業時の参加態度、小テスト、模擬授業等を総合的に判断して評価する。

《備考（教員経験の有無）》

イギリスの大学、大学院、ニュージーランドの大学教員経験、小中のALT講師としての経験・ラジオ子ども英語プログラム制作・講師、文科省より全国の新任ALTへの指導経験

《授業計画》

| 週 | テーマ | 学習内容 |
|----|---------------------|---|
| 1 | イントロダクション | 英語を外国語として教えるとはどういうことか。生徒は教員に何を期待するかを考える。（コロナ禍での授業のあり方も含めた授業紹介も行う） |
| 2 | 学習指導要領と指導目標 1（中学校） | 中学校での英語の指導目標確認の上で、学習指導案の作成演習をする（1年生用）。 |
| 3 | 学習指導要領と指導目標 2（中学校） | 中学校での英語の指導目標確認の上で、学習指導案の作成演習をする（2・3年生用） |
| 4 | 模擬授業 1 | 受講者による模擬授業と相互評価 |
| 5 | 教授法 | 生徒の発達段階をふまえた望ましい教授法とはどのようなものか |
| 6 | 学習指導要領と指導目標 3（高等学校） | 高等学校の英語の科目別に指導目標を確認の上、学習指導案の作成はどうあるべきか検討する（1）。 |
| 7 | 学習指導要領と指導目標 4（高等学校） | 高等学校の英語の科目別に指導目標を確認の上、学習指導案の作成はどうあるべきか検討する（2）。 |
| 8 | 前半の振り返りとレポート | 1回から7回までの振り返りとレポート作成 |
| 9 | 小・中連携 | 小学校英語活動を指導案を元に想定し、小中連携を考える。 |
| 10 | 中・高連携 | 中高連携を考える。生涯教育の視点から英語の学習を考える。 |
| 11 | 外部人材との協働 | 外部人材の役目と、かれらとのチームティーチングについて考える。 |
| 12 | 模擬授業 2 | 第9回～11回の内容をふまえた模擬授業と相互評価 |
| 13 | 教材研究と教具の役割 | 効果的な教材研究の在り方と教具の使用について考える。 |
| 14 | 教育実習 | 教育実習について、その意義と実際を考える。 |
| 15 | まとめとテスト | まとめとレポートテスト |